

**辻家庭園にある国の重要文化財の家屋を  
 1日1組限定の料亭として1/20から営業開始  
 入室禁止の“宝石の間”を貸し切り、1夜限りの懐石料理を…**

ウエディングプロデュース・レストラン運営の(株)ノバレーゼ(東京都中央区、浅田剛治社長、東証一部、資本金6億円)は、石川県の金沢市指定文化財「辻家庭園～前田家家老旧横山家迎賓館～」(寺町1丁目)内にある家屋の国登録有形文化財に指定された母屋部分を、1日1組限定の貸し切り型の料亭として、2014年1月20日(月)から営業開始します。

料理をふるまう部屋は、普段は入室禁止の一室「群青の間」(12畳、掘りごたつ式8人掛け)です。「群青の間」の四方の壁一面には、宝石であるラピスラズリ(青金石)が塗料として用いられており、壁全体が今なお真っ青(コバルトブルー)に発色する、豪華絢爛な金沢文化を残す一室です。

料理はその日限りの懐石コースをふるまいます。神戸の日本料理店などで修業を積んだ料理長、玉田慎介が、予約当日の朝に近江町市場に買い出しに出かけ、最も良い素材を見極め、約10品の献立てを組みます。治部煮などの郷土料理もアレンジしながら取り入れます。出来上がった料理は、料理長自ら部屋に赴き、説明を交えながらふるまいます。

食材は打木南瓜や金時草、香箱蟹など地の物も多く使い、器も九谷焼きや輪島塗などを揃え、伝統と格式ある金沢らしさと贅を融合させたおもてなしで、お客様を迎えます。



上)群青の間 下)料理イメージ

料理の提供は基本19:00からで、ご予約の最低人数は6人とし、料金はお一人15,000円からご要望に応じて承ります。

敷地内には七代目小川治兵衛(植治)の設計とされる日本庭園(金沢市指定文化財)があり、ライトアップされた庭の遊歩道をお食事の前後で散策いただけます。

会場となる「辻家庭園～前田家家老旧横山家迎賓館～」は当社が、約20年間も非公開となっていた「辻家庭園」を、日本庭園の拝観および建物内での和菓子を楽しめる新たな観光名所として、2013年12月9日(月)に開業しました。敷地内にある金沢最大級の邸宅建築のうちの母屋部分を料亭として活用することで、さらに魅力のある庭園として運営していきます。

営業開始日	2014年1月20日(月)から
営業時間	料理開始19:00～ ※時間をご相談に応じます。日によってはお昼の営業も承れます ※お食事前後で日本庭園の散策が可能です
貸切人数	6～8人 ※1日1組限定
連絡先	076-201-1124(辻家庭園～前田家家老旧横山家迎賓館～)
料理内容	一日限定の懐石料理コース、約10品 (料理構成例:先付・焼き八寸・椀物・造里・煮物・口直し・焼物・揚物・食事・甘味)
住所	〒921-8033 石川県金沢市寺町1-8-48 ※駐車場15台あり
交通	JR金沢駅東口7番乗り場から「平和町行き」のバスで「寺町2丁目」下車、徒歩2分

## 群青の間について

「群青の間」は、現在では再現の難しい青金石(ラズライト)を主成分とする石「ラピスラズリ」を色素として壁一面に使用し、今なお真っ青(コバルトブルー)に発色しています。鳥などを透かし彫りにした立体感のある欄間も豪華絢爛な趣です。現在、拝観時間は通路からの見学のみで入室禁止としています。



## 辻家庭園の歴史について

辻家庭園は加賀藩の家老八家(旧加賀八家(はっか))の一つで、「北陸の鉾山王」として知られた横山家の絶頂期である大正初期(1910年代)に、別荘地兼迎賓館の庭園として造成されました。昨今の専門家の研究で設計者は、近代日本庭園の傑作とされる椿山荘(山縣有朋別荘)や平安神宮など数々の名園を残した、近代造園の先駆者「植治」こと七代目小川治兵衛であるとされています。作庭時の敷地は数万坪(今は庭園の中心部が残る)で、現在の40億円に相当する20万円を投じた豪勢な庭です。



1925年(大正14年)に別の人物の手に渡り一時は荒廃したものの、1947(昭和22)年に辻家の所有となり整備がなされます。離れや蔵を増築し現在の建物が完成、庭も作庭時の溪谷を模した地形をかえずに植林をしたり、園路を整備したり手が加えられ、自然の山中のような風情のある庭園へと発展していきます。2004(平成16)年には明治以降の庭園として初めて金沢市指定文化財に指定され、同年、建物の母屋と長さ50mにおよぶ板塀と表門が国登録有形文化財にも指定されました。庭園自体は保護のため1995年頃から、不定期のイベント開催や散策を希望する個人からの依頼に応じる以外は、原則非公開となっていました。

## 庭の魅力について

辻家庭園は犀川を隔てた金沢の街を一望できる寺町台地の斜面約6600㎡の広大な敷地で、戸室山や医王山、犀川などを借景とする回遊式庭園です。英国風庭園の影響を受けた、自然の趣を生かしたづくりが特徴です。中でも大量の富士山の溶岩を自然風に積んだ落差5.5mの大滝が、スケールの大きさを演出しています。園内には約770本もの木が植えられており、特に約25mのケヤキ3本は樹齢300年以上の古木です。日本庭園には珍しくイロハモミジやケヤキなど落葉樹林が植栽の半分を占め、移ろう四季折々の景色を愛でることができます。

## 現在の辻家庭園について

文化財建物の外観はそのままに内観の豪華な造りを活かし改装し、2013年12月9日(月)に開業したのが、「辻家庭園～前田家家老旧横山家迎賓館～」です。建物見学はもちろん、約6600㎡の広大な敷地全体を開放しており、遊歩道を整備した庭の散策もお楽しみいただいています。庭と建物の拝観時間は10:00～17:00(春夏は18:00まで)で、拝観料として税込1000円をいただき、和菓子と抹茶を提供しています。また犀川に面した園内北東側には披露宴会場とチャペルを新設しており、“文化財ウエディング”として土日祝日を中心に結婚式を行っています。

## ノバレーゼの歴史的建築物の再生事例について

ノバレーゼは、本館建物のリノベーションを7件手掛けており、中でも歴史的建築物の婚礼およびレストラン再生案件が6件と多く、業界のリーディングカンパニーです。

### [1] ザ ロイヤル ダイナスティ(埼玉県/2004年)

創業38年の老舗式場「出雲会館」を、神殿や風格のある建築を残しゲストハウスにリノベーション。

### [2] 芦屋モリス(兵庫県/2005年)

1929年に電報電話局として建築された洋館「旧通信省芦屋別館」を再生。当時の趣ある外観をそのまま残し、設備を一新。新たに水に浮かぶように造られたチャペルを新設。

### [3] 三瀧荘(広島県/2009年)

各国要人の宿泊先としてや、将棋の棋王戦や囲碁の碁聖戦の舞台として、国内外の方々に愛された木造建築である、1946年開業の料亭旅館「三瀧荘」を再生。現存する建物や庭を活かしながら宴会座敷をチャペルにするなど“ジャパニーズ・モダン”をテーマに改装。

### [4] 姫路モリス(兵庫県/2009年)

1930年に建設の昭和初期の歴史的建造物「旧通信省姫路電信局」を再生。ジョージアンスタイル建築のように縦線を強調したクラシカルな雰囲気をもつ景観重要建築物本体を美しく魅せるため、新築のチャペルやインテリアに、伝統的な折り紙をコンセプトとした斜めのラインを主張したモチーフを取り入れ改装。



### [5] 旧ジェームス邸(兵庫県/2012年12月8日)

1934年建設の神戸を代表する歴史的洋館で、英国人貿易商の自邸であった「旧ジェームス邸」を再生。歴史的建築美を生かしながら、地上階はレストランや婚礼の待合室として利用し、地下のレンガ積みのバーもそのまま活用、建物を邪魔しない控えめな披露宴会場とチャペルを敷地内に新設。



### [6] 旧桜宮公会堂(大阪府/2013年4月15日)

1935年に明治天皇記念館として建設された国の重要文化財「旧桜宮公会堂」を大阪市から借り受け婚礼施設兼カフェ・レストランとして再生。日本で最も早い時期の洋館の一つで、ローマ神殿風の重厚な石造りが特徴の建物外観をそのまま残し、建物内を当時の様式美を活かしながら改装。



### [7] 辻家庭園(石川県/2013年12月9日)

大正初期作庭で、金沢市指定文化財の県屈指の近代庭園「辻家庭園」を茶寮として再生。近代日本庭園の先駆者、七代目小川治兵衛(植治)設計の庭と国登録有形文化財の母屋などの外観を残し内装を改装。婚礼施設としても活用し、チャペルと披露宴会場を庭園内に新設。



## 会社概要

【社名】株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc.[証券コード]東証一部(2128)  
 【住所】〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目8番14号 銀座 YOMIKO ビル 4F  
 【電話】03-5524-1122(代) 【設立】2000年11月1日  
 【資本金】608,825千円(2012年12月末) 【代表者】代表取締役社長 浅田剛治  
 【従業員数】1,355人(連結)、1205人(単体) ※いずれもパート・アルバイト含む(2013年6月末日)  
 【売上高】2012年12月期 117億6,384万円(連結)  
 【事業内容】ブライダル事業(婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門)、レストラン特化型事業  
 【連結子会社】上海娜珀蕾絲餐饮管理有限公司(レストラン運営)、NOVARESE KOREA INC.(レストラン運営)  
 株式会社 MARRY MARBLE(婚礼演出映像制作)、株式会社花乃店千樹園(婚礼装花)  
 株式会社タイムレス(コンサルティング事業)

## 事業内容

### ■ ブライダル事業

(婚礼衣裳部門)

NOVARESE	シンプルでモダンなデザインの高級ウエディングドレスのレンタル、販売
ecruspose	華やかでキュートなデザインのウエディングドレスのレンタル、販売

(婚礼プロデュース部門)

モノスタイル	都市の中心地や閑静な住宅街など利便性の良い地域を対象に、洗練された都会的イメージと、高級感を演出するシンプルでスタイリッシュな内外装や空間建築を特徴とする施設
アマンダタイプ	都市郊外で自然の景観に恵まれた地域を対象に、くつろぎと開放感のある高級リゾート感のあるウエディングを演出する、自然を活かした郊外型建築を特徴とする施設
再生施設	歴史的・文化的価値があり利便性の良い高付加価値建造物や、旧来型のホテル・専門式場を当社の開発・運営手法を投入し、蘇らせた施設(下記【再】)
中価格帯施設	平均婚礼費用を上記3タイプより4割程度抑えた中価格帯施設。既存の式場・ホテル・ゲストハウスを改装する再生物件に特化
業務提携	レストランや料亭との提携施設で挙式・披露宴やパーティの受託運営(下記【提】)

(レストラン部門)

レストラン事業	休日の披露宴や平日のレストラン営業における飲食事業を運営(下記【R】)
---------	-------------------------------------

### ■ レストラン特化型事業

挙式・披露宴を行わないレストラン特化型の店舗を運営(下記【Rのみ】)



本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:野原 TEL: 03-5524-1199 FAX: 03-5524-1133

E-mail: nohara@novarese.co.jp